

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

平成 30 年度まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

田辺市社会教育委員会では、平成 30 年 3 月に策定した第 2 次田辺市生涯学習推進計画の重点アクションプランに掲げた「まちづくり市民カレッジ+（プラス）」を、豊かな自然、伝統、歴史、産業など、田辺の持つ魅力を再発見し、田辺が大好きな人をつくるとともに、まちや地域を支える人づくりに努めることを目的として開催しました。

【日程】

回	開催日	会場	内容等
第 1 回	平成 30 年 10 月 21 日（日）	田辺市文化交流センター たなべる	こんなに田辺はいいところがある！ これでまちが好きになる！甲斐みの りさんと歩く『旅するように暮らす田 辺』
第 2 回	平成 30 年 12 月 16 日（日）	田辺市民総合センター	大いに語る田辺の魅力！高校生レポ ーターvs 地域プレーヤー
第 3 回	平成 31 年 2 月 24 日（日）	田辺市民総合センター	なぜ田辺？移住者からみた田辺の魅 力
第 4 回	平成 31 年 3 月 17 日（日）	田辺市中部公民館	やっぱり田辺が好きなんです。日本一 のローカルマインドを目指して

【実施結果】

第 1 回講座

10 月 21 日（日）に文筆家の甲斐みのりさんを講師にお迎えし、「こんなに田辺はいいところがある！これでまちが好きになる！甲斐みのりさんと歩く『旅するように暮らす田辺』」と題し、田辺のまちなかのよいところを探すフィールドワークを行いました。

いろいろなところを旅しておられ、田辺にも何回もおいでいただいている甲斐さんから、まち歩き視点をお教えいただき、まちのよいところを探す今回の講座は、「初めて知ることがいっぱいあり、田辺の魅力がたくさん見つかった」、「今まで見えていなかったことが見えてとてもワクワクした」、など受講者の皆さんから大変ご好評をいただきました。



第2回講座

12月16日（日）に株式会社たがみ 専務取締役の田上雅人さん、焼きたてパン D'oh!代表の浅賀由貴乃さん、市内に通学する高校生4名の方に登壇していただき、「大いに語る田辺の魅力！高校生レポーターvs 地域プレーヤー」と題し、田辺の魅力について語っていただきました。

市内で活躍されている事業者の方や、広報田辺の高校生レポーターとして活躍されている高校生など、それぞれのお立場から田辺の魅力や、経験してきたことなどをお話いただきました。高校生など若い方々をはじめ、いろいろな世代の方に熱心に聴講いただき、「楽しい雰囲気の中田辺の魅力を語っていただき、田辺の良さを再認識できた」、「異なる世代の視点からいろいろな話を聞けて、すごく楽しかった」など、よいご意見をたくさんいただきました。



第3回講座

2月24日（日）に食品加工・販売 CONSERVA 代表の金丸知弘さん、映像制作扇松屋龍神代表の中島英介さん、一般社団法人 kumano.co 理事の森岡雅勝さんに登壇していただき、「なぜ田辺？移住者から見た田辺の魅力」と題し、都会での暮らしを経験した後、田舎の良さに魅力を感じ県外からIターンで移住された方々から見た田辺の魅力について語っていただきました。

通勤・通学に要する時間の長さや物価の高さなど都会暮らしにおける大変さや、自然豊かでいろいろなチャンスがある田舎暮らしの魅力、地域みんなで子育てをする温かさなどをお話いただき、「田辺市のまだまだ知らない魅力がたくさんあると感じたので、今後も魅力を探していきたい」、「当たり前だと思っていたことを特別なこととじてくれる人がいて、それが地域発展につながる可能性を感じた」など、よいご意見をたくさんいただきました。

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について



第4回講座

3月17日（日）に株式会社パヴァナ・プレス代表取締役で月刊ソトコト編集長である差出一正氏に登壇していただき、「やっぱり田辺が好きなんです。日本一のローカルマインドを目指して」のテーマに基づいて、「ぼくらは地方で幸せを見つける。～関係人口の作り方～」と題して講演をしていただきました。

「関係人口に田辺市がとても積極的に取り組んでいることを知って、県外の方たちが知らないことをまずは県内の自分たちが発見して、そして広めれば自然と自分たちの町に誇りが持てるようになると思った。」「田辺の大人だけでなく、高校生も田辺の発展に貢献できることを知った。」「差出さんが紹介してくれた事例から、地域を変えるのは難しいことではないし、できると思った。」など、前向きでいい意見をたくさんいただきました。



まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

令和元年度まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

田辺市社会教育委員会議では、ふるさと田辺の現状を知り、地域の魅力を再発見するとともに、地域の未来を読み解き、次代を担う後継者（人材）の発掘・育成することを目的として、人材育成講座「まちづくり市民カレッジ+（プラス）」を開催しました。

【日程】

区分	回	実施日	会場
高校出張講座	第1回	令和元年8月28日（水）	和歌山県立田辺高等学校
	第2回	令和元年10月16日（水）	和歌山県立神島高等学校
一般公開講座	第1回	令和元年10月20日（日）	高垣工務店シリコンバー
	第2回	令和元年12月15日（日）	田辺市文化交流センターたなべる
	第3回	令和2年2月2日（日）	田辺スポーツパーク多目的ホール

※第4回講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

【実施結果】

高校出張講座 第1回講座

令和元年8月28日（水）に、県立田辺高校のクラブ「国際交流委員会 SEEKER」の生徒を対象に、東京都目黒区出身で現在田辺市龍神村で食品加工・販売業を営まれている金丸知弘さんと、同行出身で東京学芸大学に通う宮崎理央さんを講師にお招きして、お二人の講演と意見交換を行いました。

「宮崎さんは、自分の経験を踏まえて話をされていて、自分から進んでやりたいことをやってくというのはとても大切なんだと感じた。自分も何かをするとき、目的と手段を明確にしていきたいと思います。」「上京するのが無難だと思っていたが、全然違った。地元での就職などもよく考えてみる必要があると思った。」「自分は東京に行きたいと思っていたけど、金丸さんの話を聞いて、改めて自分がやりたいことを見つめ直そうと思った。和歌山という田舎のことも長い目で見ることでできる人になりたいと思った。」「私は宮崎さんみたいに自分を信じて突き進むことはできないけど、私は私なりに自分ができるところを見つけて頑張ってみようと思うことができた。」など、高校生の皆さんからの感想をいただきました。



まちづくり市民カレッジ+（プラス）について



高校出張講座 第2回講座

令和元年10月16日（水）に、県立神島高校3年生の課題研究授業において、「都会暮らしに憧れることは仕方がないこと！だけど、この地域にはあり余るメリットがある。それを僕たちは伝えたい！」と題して、埼玉県出身で現在は田辺市龍神村で映像制作業を営まれている中島英介さんと、東京都目黒区出身で現在田辺市龍神村で食品加工・販売業を営まれている金丸知弘さんを講師にお招きして、お二人の講演と意見交換を行いました。

「東京から田辺（龍神）への移住をすることで人生が変わったという話が印象的だった。インターネットの普及で、どこでも仕事ができる時代になったのだと改めて実感できた。」、「都会で暮らすのは、田舎にいるよりも大変なことが多い。地元には、今は気づけない魅力がある。」、「これまで東京にすごく憧れがあり、一度は住んでみたいと思っていたけど、東京の良い面だけでなく、悪い面も知ることができた。都会への考え方が変わった。」、「都会と田舎の生活水準が全然違うことに驚いた。地元で自慢できるものがあるとわかった。」、「地方には地方の良さ、都市部には都市部の良さがあると教わった。主観だけで、地方がよくない、都市部はよくないと決めつけず、客観的に見て、それぞれの良さをもっと知っていきたいと感じた。」、「都会に出るよりも、地元で生活したいと思った。」など、高校生の皆さんからの感想をいただきました。



まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

一般公開講座 第1回講座

令和元年10月20日（日）に、「激論！高校生レポーターvs 地域プレイヤー」と題して、次代を担う若者（高校生）と地元で働く格好いい大人（地域プレイヤー）に登壇していただき、これまで取り組んできた様々な活動等を中心に、「住んでいる地域・ふるさと・現在の仕事とうに対する思い入れ」や「これから自分はこうしていきたい！」といった抱負などを大息語り合っていました。

「いろんな人たちが、これからの田辺のことをとても考えていて、これからもっとよくなっていくんだろうと思えた。私も何かできることがあったらしたいなと思った。」、「将来をきちんと考えている学生がいることにとても感心した。」、「高校生がしっかりとした意見を持っていること、地域プレイヤーのこの地域への愛情を感じられた。」、地域外へ出られる学生さんには往復キップを我々は渡したいと思った。」など、受講者の皆さんからの感想をいただきました。



一般公開講座 第2回講座

令和元年12月15日（日）に、「激白！移住者の妻たちの思い！」と題して、この地に移住した夫とともに当地に来られた妻の方々に登壇していただき、移住の決断から転居、転居してから今日までの様々な環境変化、その変化に対応するためにどのような思いで過ごしてこられたか...を大いに語っていただきました。

「なじめない大変さに共感しただけでなく、どのようになじんでいったか、自分も変わらないと、自分から動いていくことも大切ってわかった。」、「それぞれの地域に住む移住妻の方々の思いとか苦勞がよくわかり、とてもよかった。」、「この講座からの発展があるとよいと思う。移住者妻間の交流などあれば、最初のつらい時期も乗り超えやすいのでは。」、「移住して30年、いろいろなことがありましたが、今は楽しみも見つけて、これからも楽しく暮らせていけたらと思う。」など、受講者の皆さんからの感想をいただきました。

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について



一般公開講座 第3回講座

令和2年2月2日（日）に、「わたしたちのまちを未来へつなげよう！ー田辺の未来のために、今できることを考えてみよう！やってみよう！ー」をテーマに、自分たちが暮らすまち・むらの課題の解決に向けて、身近なところから行動する「自治の担い手」と自治の支え手」の育成を目指すとともに、持続可能なまちづくりにつなげていくため、地域の現状を見つめ直し、5年先、10年先を展望し、地域の未来を住民が一緒に考える機会として開催しました。

講座では、稲成町下村区活性化委員会と立戸自主防災会による地域づくりの取組発表と、人と組織と地球のための国際研究所代表の川北秀人さんによる「行事から事業へ、役から経営へ、現場づくりからひとづくりへ」と題した講演をいただきました。

「町内会活動の将来構想のヒントを盛りだくさんいただいた。」「わが町でこれから目指すことを教えていただけた。課題が見つかってよかった。がんばります。」「データに基づいた現状の問題点や他のまちの取組について知ることができた。解決策として自治でやっていく重要性を挙げられたが、もっと具体的に知れたらよかった。」「具体的な取組の話を聞き、自分たちの地域ではどのようなことができるかを考える機会となった。とりあえず自分以外の人と一緒に考えることから始めたい。さらに多くの事例を聞きたかった。」など、受講者の皆さんからの感想をいただきました。

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について



まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

令和2年度まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

社会構造や環境（人口減少、過疎化、少子・高齢化、個人の価値観やライフスタイルの多様化、科学技術の高度化、情報化・国際化の進展、行政サービスに対するニーズ、家庭・地域のあり方）が急激に変化し、地域のコミュニティ力の低下が懸念されている中、田辺市社会教育委員会では、地域の未来を読み解き、次代を担う後継者（人材）の発掘と育成を目標として、「まちづくり市民カレッジ+（プラス）」を開催しました。

本年度の講座は、田辺市が取り組みを開始した「住民が主体となり様々な地域課題の解決に取り組む新しい仕組みについての研究」と連携して、地域自治組織の先進事例である「小規模多機能自治」をテーマとして、自分たちの地域は、自分たちの手で守り、創っていこうとする「自治の精神」を持ったひとづくりに取り組みました。

【日程・講師・内容等】

回	開催日時	内容等	講師
第1回	令和2年 7月21日(火) 13:30～16:00 18:30～21:00 7月22日(水) 10:00～13:00	1日目「小規模多機能自治セミナー（基本編）」 2日目「小規模多機能自治セミナー（データ作成編）」	川北 秀人 氏（人と組織と地球のための国際研究所 [IIHOE] 代表）
第2回	令和2年 9月8日(火) 13:30～16:30	【オンライン開催】 「まちづくりファシリテーター養成セミナー（基礎編）」	山口 覚 氏（津屋崎ブランチ LLP 代表）
	令和2年9月～ 令和3年1月	演習（地域カルテの作成）、各地域での報告会等	
第3回	令和3年 2月14日(日) 13:30～16:30	みんなで考えよう！私たちのまち”田辺”のこと～ずっと住みたいと思えるまちにしていこうために～ 第1部 研究発表 「地域カルテ作成の取り組みから見てきたもの」 講評 第2部 パネルディスカッション 「これからの地域（経営）に求められる考え方、進め方」	第1部（発表者、講評） 新庄地域の代表者 上芳養地域の代表者 本宮（四村川）地域の代表者 川北 秀人 氏（人と組織と地球のための国際研究所 [IIHOE] 代表） 第2部（パネリスト、コーディネーター） 新庄地域の代表者

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

			上芳養地域の代表者 本宮（四村川）地域の代表者 川北 秀人 氏（人と組織と地球のための国際研究所 [IIH0E] 代表） 真砂 充敏 市長 西川 一弘 氏（和歌山大学准教授）
--	--	--	---

【会場・定員】

回	会場	所在地	定員
第1回	1日目 田辺市教育研究所 3階大会議室	田辺市中屋敷町 24-45	(1) 30名程度 (2) 30名程度
	2日目 和歌山県立情報交流センターBig・U (ネットワーク実習室、情報実習室1)	田辺市新庄町 3353-9	30名程度
第2回	和歌山県立情報交流センターBig・U (研修室2、研修室4)	田辺市新庄町 3353-9	60名
第3回	和歌山県立情報交流センターBig・U (多目的ホール)	田辺市新庄町 3353-9	100名

【対象】

田辺市内に在住・在学・在勤の方で、まちづくりや地域づくりに関わっていききたい方

【その他】

※第3回講座については、新型コロナウイルス感染症防止を図るため次の対策を講じて開催しました。

- ・参加者の把握と確認（事前申込制）
- ・マスク着用、検温の実施、手指消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保など

【実施結果について】

第1回講座

令和2年7月21日（火）から22日（水）の二日間、社会構造や環境（人口減少、過疎化、少子・高齢化、個人の価値観やライフスタイルの多様化、科学技術の高度化、情報化・国際化の進展、行政サービスに対するニーズ、家庭・地域のあり方）が急速に変化し、地域のコミュニティ力の低下が懸念される中、住民が主体となって様々な地域課題の解決に取り

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

組む人材の育成を目的として、地域自治組織の先進事例である「小規模多機能自治」の学習会（基本セミナー・データ作成セミナー）を開催しました。

「実際の本市の数値を使つての講義はとてもわかりやすく、興味もわきました。不安感と期待感が高まりました。」「データの見える化による、カンや経験だけではない地域で不足していることを把握することがまずは大切とわかった。」「現状と未来を知ること、いま何を（に）取り組むかを考え、行動に活かしたい。」「地域への説明はデータで示すことが重要。」「少子化や高齢化を数値で見ること、何が問題なのかよりわかりやすくなった。地域の人と一緒に確認することが大事だと思った。」「のんきでいる場合でないと訴える機会に利用したい。」「行政全体として共有していただければと感じた。」など、受講者の皆様からの感想をいただきました。



第2回講座

地域社会を取り巻く環境は大きく変化するとともに、課題も多様化・複雑化してきており、行政などの一つの主体だけでは対応が難しくなっていることから、それぞれの地域のことは地域で暮らす自分たちで新たな解決策を考え、行動していくことが求められています。

市民参画によるまちづくりや地域づくりを進める上では、新たな「担い手」、「支え手」を見出し、育成（養成）し、そして世代交代による人材の循環が必要です。

そうしたことから、全国屈指の人口増加率を誇る福岡県福津市で移住や起業の支援、古民家再生などを手掛ける津屋崎ブランチ有限責任事業組合代表の山口覚氏に講師として、まちづくりを円滑に進めていく人（まちづくりファシリテーター）の養成セミナーを令和2年9月8日（火）にリモート（オンライン）によって開催しました。

山口さんは、「何かを進めていこうとするときは話し合いが最も重要」、「話し合いの心得としては、否定をせず耳を澄まして相手の話を聞く、断定したり、自分だけが正しいと思わない、人は常に成長を続けるのだから心の変化を受容する」などお話しいただきました。

受講した方々に山口さんの講義で心に残った言葉をお聞きしたところ、「話し合いは未来をつくる」、「まちづくりは対話から」、「一人のやりたいことをみんなで応援」、興味のない人より入口のない人に目を向けたい、「討論ではなくて、対話が大事だということ」などの感想がありました。

まちづくり市民カレッジ+（プラス）について

また、講座を受講しての感想をお聞きしたところ、「今回のセミナーは聴講するだけでなく、ワークショップを体験できてよかったです」、「話し合いの場へ住民を出席させるにはどうすれば良いか、を考えることが必要」、「オンラインでも講師の考え方や熱い思いを感じられたので、機会があれば実際に（生で）話を聞いてみたい」などの感想をいただきました。



第3回講座

自分たちが住む地域の「今」と「未来」を考え、地域課題に対処する方法をみんなで考えることを趣旨として、各地域の研究発表及びパネルディスカッションを行いました。各地域の研究発表では、「地域カルテ作成の取り組みから見えてきたもの」と題し、第1回講座で学習した内容を受けて、公民館主事が研修の一環として作成した「地域カルテ（公民館区ごとに、地域ごとの人口推計や児童・生徒数、公共施設や地域資源の状況等の情報をとりまとめたもの）」を活用し、地域課題の掘り出しなどを行った地域の実践事例が紹介されました。パネルディスカッションでは、研究発表を行った各地域の代表者並びに田辺市長及び第1回講座講師の川北秀人氏を迎え、他地域の発表を見ての感想や、地域自治を進めていくとした場合の行政の役割など、パネリストによる活発な議論が行われました。

受講した方々に感想をお聞きしたところ、「地域カルテを作成したことにより、地域の現状・課題が見えてきたことで、今後どうあるべきかを考えるきっかけになったと思います」

「川北先生の読み深め、分析により、見やすく理解しやすくなり良かったです」「今後の課題が明確になりました。今後、全住民調査や行事の合理化、公民館が地域の経営も考えながら、地域の活性化にとりくむことができればと思いました」「他地域の事例を聞いたのでまねしてみたい」などの感想をいただきました。

